

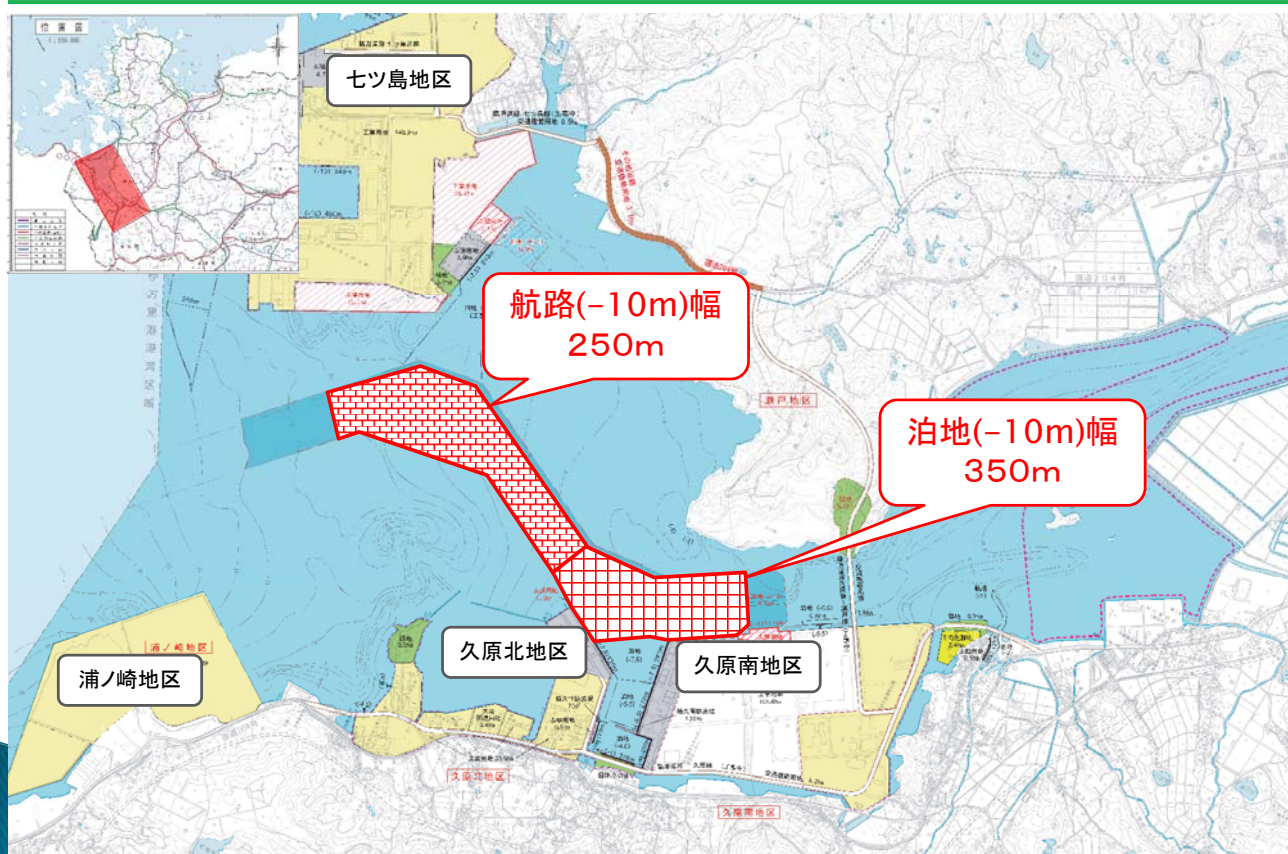
公共事業に係る効果等について

重要港湾改修事業伊万里港久原北地区

(港湾課)

1

○事業位置



2

○事業位置



3

○事業概要

- 事業名 重要港湾改修事業
- 箇所名 伊万里港久原北地区
- 所在地 伊万里市
- 工期 昭和57年度～平成20年度
- 総事業費 約31億円
- 事業内容 航路・泊地整備
 - 航路(-10m)浚渫工 1,713千m³
 - 泊地(-10m)浚渫工 1,661千m³

4

○背景と目的

伊万里港では、

- 昭和40年代後半木材加工産業が活況を呈しており、また、伊万里団地の着工により、楠久地区の開発計画が具体化している。

よって

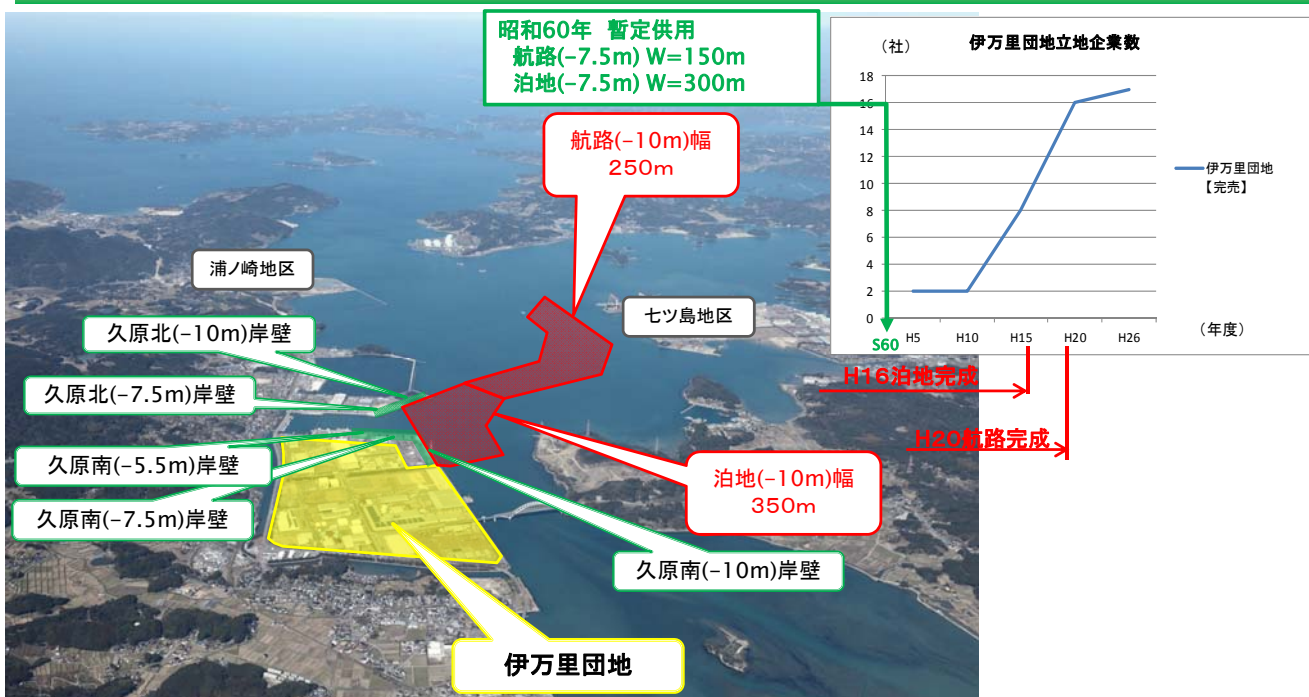
- 木材の輸入、及び伊万里団地を形成する企業の原材料の移入が見込まれている。

そのため

- 久原地区において木材の輸入、原材料の移入が可能となるよう港湾施設(岸壁、航路・泊地)の整備を行う。

5

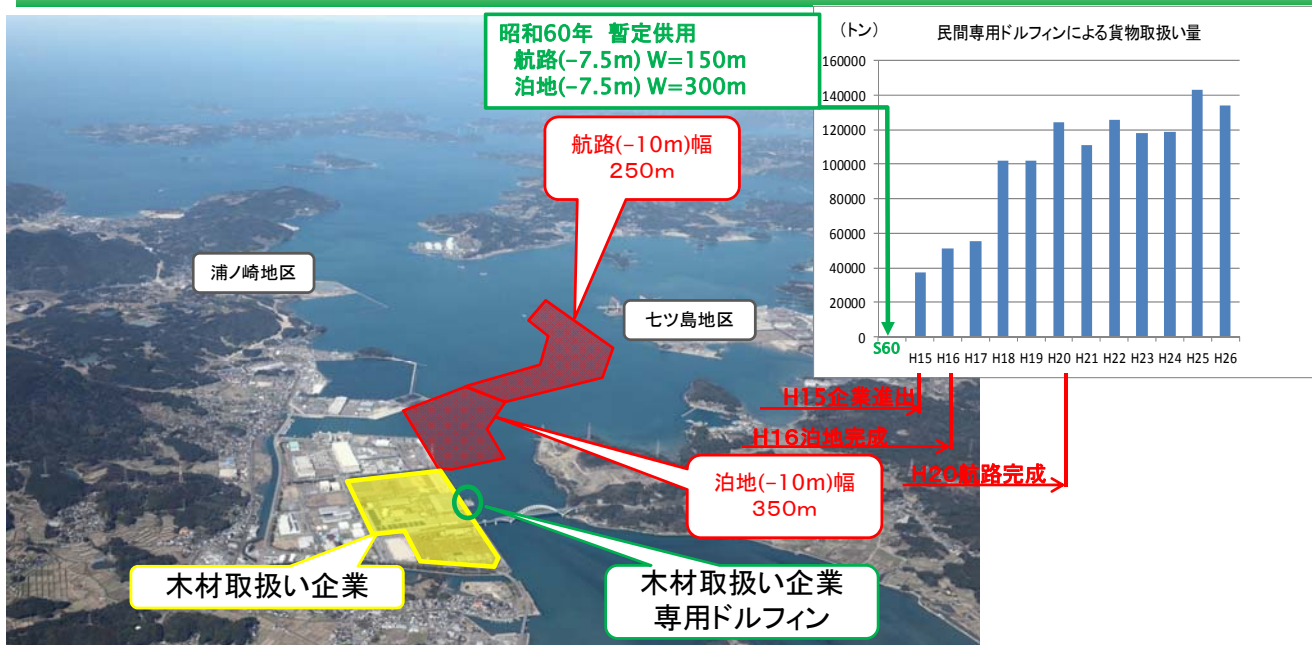
○事業の効果(1) 背後圏の伊万里団地が完売



○昭和48年の伊万里団地の着工にあわせ、久原南岸壁の整備に着手、また、航路・泊地の整備も行ったことで、背後圏の伊万里団地の分譲が順調に進み、現在では完売している。

6

○事業の効果(2) 航路を利用する企業活動の活性化



- 平成15年、伊万里団地に、民間で専用ドルフィンを備えた木材の取扱い企業が進出。(昭和60年に暫定整備された航路を使用)
- 今回、航路・泊地が完成し、航行の安全が図られるとともに、航路での行き交いが可能となり、利便性が向上している。
- 民間専用ドルフィンの貨物取扱量は順調に伸びている。